

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B
①知識・技能の習得	○		
②思考力・判断力・表現力の育成	▲		
③学習意欲・学習習慣	○		
「確かな授業力」		諸調査の状況 ・各種諸検査における通過率の向上，個に応じた補充指導	3 (3)
④生徒指導の機能を生かした学習指導	○		
		学習指導・研究部 ・授業力向上をめざした実践	4 (3)

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲, 成果○)
1 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との共通実践事項の確認と実施 ・相互授業参観(校内・小学校・市内) ・パワーアップの手引き(教師用)の活用 	○(○) ○(○) ▲()	○授業参観月間を設定し，計画的に進めることができた。市内の交流授業へも積極的に参加した。 ▲パワーアップの手引きについて，効果的な活用ができなかった。
2 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●ねらいを明確にしたかかわり合いの場の設定 ・TTや効果的な少人数学習の推進 ・諸検査の分析と結果に基づいた補充指導 ●表現する場での，適切な指示・支援 	○() ◎(○) ○(○) ▲(▲)	○授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思う生徒の割合を高めることができた。 ▲「かかわり合い」のねらいについて，教科や教師によってとらえ方の違いが見られた。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)